



ウルリーケ・エアメルの ゲーテントーク!

番外編

あれー、どこかで見たことがある顔? 会ったことがある金髪のお姉さん? 市の広報紙に毎月載っていた人? 知っている人かな??・・・ピンポーン、正解です。私、3年間国際交流員として勤め、昨年8月にドイツに帰国したウリです。今回もどうぞよろしくお願いいいたします。

『お世話になりました! いつかまた会えるように!』・・・私が最後に書いたコラムのタイトルですが、こんなに早く会えるとは思っていませんでした。「どうしたの?」「しばらく日本にいるの?」とあちこちで聞かれていますので、事情を皆さんに説明したいと思います。

昨年の8月3日、下野市国際交流員の任期が終わり、ドイツへ帰りました。任期が終わっただけでなく、マイダーリン(宇都宮市にあるアイリッシュパブで知り合ったドイツ人)もドイツに住んでいましたし、帰りたいう気持ちが強すぎたので帰国しました。

言うまでもなく、出身のライプチヒにいる両親や待っていてくれた友達と遊んだり、お爺ちゃんの面倒を見たり、ソーセージやパンをたくさん食べたりして、9月からボン市(ライプチヒから5時間)で二人の生活が始まりました。

また、9月からはフランクフルト郊外(ボンから2時間)にある在独日本企業の子会社に勤め始めました。国際交流員とはまったく違う世界に入って、生産技術マネジメント(ドイツ語も英語もしゃべれない二人の日本人)の通訳者でした。内容がかなり難しく、一日がとても長く感じました。「大変でした。」と正直に言えます。週末しかボンに帰れませんでした。

それからあつという間にクリスマスでした。そのとき彼に、日本に転勤という提案がありました。2年、または最高で3年。びっくり!「半年前に帰国したのに、お母さん、友人の顔をあまり見られなかったのに、また日本に行くの? 勘弁して。」としか言えなかったです。

しばらくの間、色々話し合ったり、考慮したりして、決めるのは簡単ではありませんでした。1月中旬、彼が先に日本に引っ越しました。3月下旬、私が合流。その時まで、週末にはできるだけまだ会っていない友達を訪問し、両親やお爺ちゃんと遊び、出発の準備をしました。

皆さんがよく知っているスージーさんの前任者でもあり、後任者にもなりました。彼女とはよく情報を交換しましたが、初めて日本でも会いました。彼女も国際交流員として、世界の旅や語学講座を実現し、たくさんの市民と触れ合ったと思います。楽しくて面白い思い出になればいいなと思います。

では、私からのお願いです。これからも下野市の国際交流を今までと同じように続けたいと思いますが、一人でできるものではないので、皆さんのご協力をお願いいたします。そして、この広報紙が私のお知らせ版となりますので、毎月お読みいただければと思います。

来月からこのページのデザインや内容が少し変わりますので、楽しみにしててください。

何かご意見やアイデアがございましたら、気軽に国分寺庁舎へお話しに来てください!お待ちしております。

ミュンヘン大学生8名が 来日します

8月17日(金)から9月1日(土)まで、下野市国際交流協会主催の「第15回グリムの里夏期日本語講習会」が開催されます。ドイツのミュンヘン大学から8名の学生が下野市を訪れ、市内にホームステイしながら日本語や文化について学びます。21日(火)には市内見学で天平の丘公園などを訪れる予定です。また、24日(金)の午前中は、勤労青少年ホームで着物の着付け体験を行ないます。着付け後は施設周辺を散策し記念撮影などをしますので、市民の皆様にも大学生たちの晴れ姿をご覧いただけます。また、午後は交流委員会による子どもたちとの料理交流プログラム(かんぴょう巻き作り)もありますので、皆様の参加をお待ちしています。

問い合わせ先

生活課 ☎40-5555

「ドイツ・ミュンヘン大学生と 子どもの交流会」

下野市特産品のかんぴょうで、かんぴょう巻きを作って一緒に楽しみましょう!

日時 8月24日(金)午後2時~4時30分
(1時30分受付開始)

場所 きらら館 調理室と研修室
定員 先着20名(未就学児と小学2年生
以下は保護者同伴)

参加費 一人300円
持ち物 エプロン、布巾、持ち帰り用タッパ、
上履き

申込み 8月6日(月)から10日(金)まで
に、電話で生活課(☎40-5555)へ
申し込みください。

主催 下野市国際交流協会交流委員会